



ホテイグループ CSR活動報告書

2024年10月～2025年9月

株式会社

ホテイフーズ コーポレーション

ほてい運輸株式会社

SiAM HOTEi co.,ltd.

気仙沼ほてい株式会社

PRANBURi HOTEi co.,ltd.

目次

ごあいさつ	2
ホテイグループのCSR	3
ステークホルダーとのつながり	4
組織表	5
CSR活動報告	
清掃活動	6
リサイクル活動	9
地域保育園・幼稚園・小学校・中学校への缶詰寄贈	11
地域小学校へ食育活動	13
工場見学者通路への富士山写真の展示	14
工場見学の受入・献血活動	15
その他活動	16
まつのdeマルシェへ出店	
私のSDGs宣言	
御殿山保全活動	
「小車さくらを守る会」協賛	
工場見学の受入	
気仙沼市産業まつりへ出店	
鹿折かもめ通り「二日市」へ出店	
タイ：ソンクラーン儀式への参加	
タイ：チャリティーバザーに出店	
SDGsについて	20
2025年10月以降に向けて	26
ホームページでの公開について	27
Facebookでの活動報告について	27

ごあいさつ

CSR推進委員会委員長 山本 達也

当社は、基本理念「人はみな豊かでなければならない 我々に関係ある人はみな どうしても豊かでなければならない」のもと、食品メーカーとして「味の心」を追求し、安心安全な食の安定供給に努めてまいりました。

また、地域社会とのつながりを大切にし、地域とともに歩み成長しましたが、「ホテイがあって良かった」と思っていただけのような価値観を想像していきたいと考えます。

会社の価値観・個人の価値観をそれぞれ尊重し、我々に関係ある方々から「いかに必要とされているのか」を意識し、持続可能な未来を社会とともに築き、社会的な責任を果たしてまいります。

チームCSRリーダー 磯部 卓也

ホテイグループでは、グループ全体でCSR活動を積極的に推進して参ります。

そして、社会的責任を果たす為に社員一丸となって地域に根付いた活動を通じ、信頼される企業を目指して活動をしております。

活動が制限されたコロナ禍が2類から5類へ移行し再び活発な活動ができるような環境になりました。

今後もサステナビリティ推進の中で、CSR【ホテイの社会的責任】を全てのステークホルダーと連動しながら進めて参ります。

ホテイグループのCSR

2013年6月よりCSR推進委員会を発足し、2013年10月より活動をスタートしました。
当社の事業活動は多様なステークホルダー（利害関係を有する方々）との関わりの中で進められています。ステークホルダーの1つである地域社会の一員であることを自覚し、地域への貢献から始め、徐々に活動の幅を広げております。

活動については、蒲原地区（本社・開発棟）、富士川地区（富士川工場・ほてい運輸）、気仙沼地区（気仙沼ほてい）、タイ地区（サイアムホテイ・プランブリーホテイ）の地区ごと活動目標を立て、それぞれ実施しております。

蒲原地区目標

- ・ 本社、開発棟周辺の清掃
- ・ リサイクル（空き缶、ペットボトルキャップ）
- ・ ベルマークを近隣幼稚園へ寄付
- ・ 近隣幼稚園、保育園、小学校、中学校への缶詰贈呈、防災教室

富士川地区目標

- ・ 工場、ほてい運輸周辺の清掃
- ・ リサイクル（空き缶、ペットボトルキャップ）
- ・ 地域イベントへの参加（まつのdeマルシェ）
- ・ 近隣幼稚園、保育園、小学校、中学校への缶詰贈呈、防災教室
- ・ 地域向けAED、心臓マッサージ講習

気仙沼地区目標

- ・ リサイクル（ペットボトルキャップ）
- ・ 地域イベントへの参加（気仙沼市産業まつり、鹿折かもめ通り「二日市」）

タイ地区目標

- ・ 事務所、工場周辺の清掃
- ・ ソンクラーンの儀式への参加

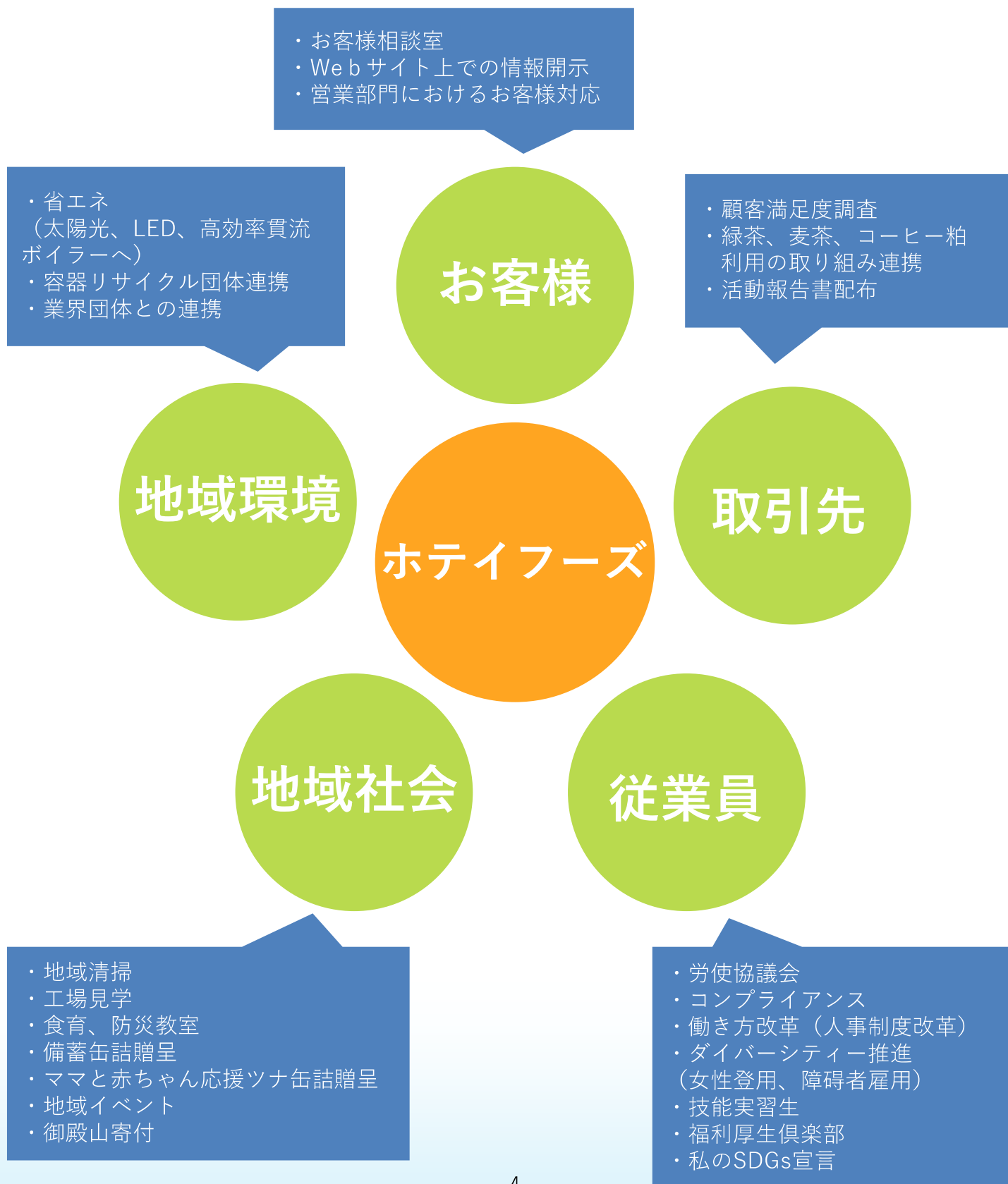
【CSRとは】

Corporate Social Responsibilityの略（企業の社会的責任）

企業が様々な活動を行うプロセスにおいて、利益を最優先させるのではなく、ステークホルダー（消費者・取引先・地域社会・株主・従業員等の利害関係者）との関係を重視しながら、社会的公正性を保つことや、環境対策を促すことなど、社会に対する責任や貢献に配慮し、長期にわたって企業が持続的に成長することが出来るよう目指す。

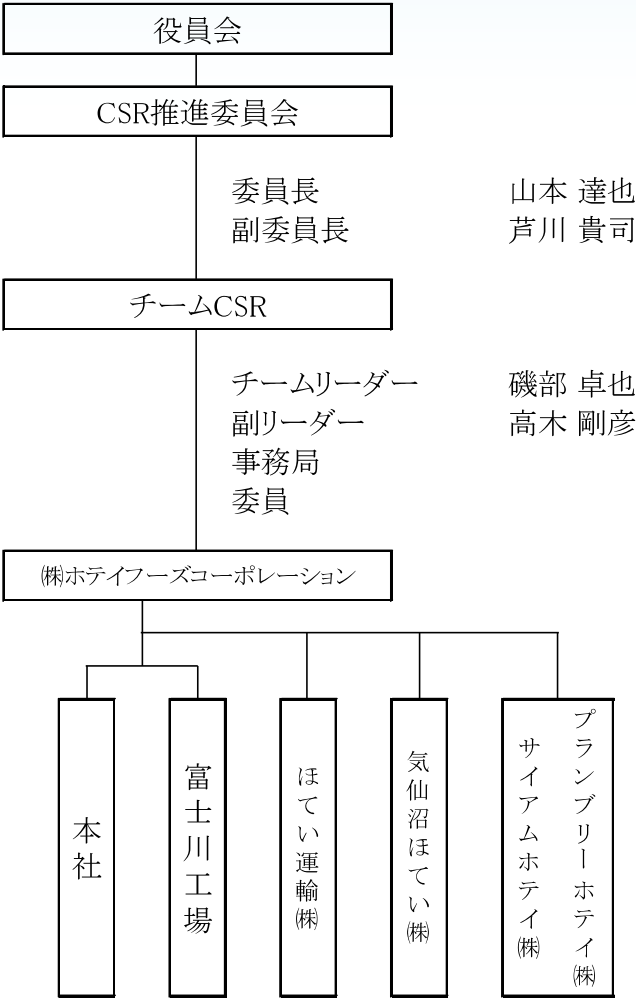
ステークホルダーとのつながり

ホテイフーズの事業活動は、多くのステークホルダーとのつながりの中で進められています。持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続ける為にステークホルダーへの責任を明らかにすると共に、様々なコミュニケーションを実施していきます。また頂いたご意見や社会のニーズを企業活動を反映し、高い信頼関係や協働関係を持続的に築いていくことを目指します。



ホテイグループCSR活動組織表

(令和6年9月30日現在)



委員長		山本 達也
副委員長		芦川 貴司
チームリーダー		磯部 卓也
副リーダー		高木 剛彦
事務局		深澤 哲也
		佐々木 拓洋
		鈴木 あや
		長岡 英美
委員	本社(1階)	高泉 久乃
	(2階)	山梨 硫
	(3階)	保坂 大樹
	(業務管理チーム)	田野 由佳
	(開発棟)	吉川 僚汰
	富士川工場(事務課)	佐野 潤子
	(技術部)	太田 貴子
	(流動食プラント)	志田 育枝
	(飲料プラント)	望月 賢
		望月 克和
		河瀧 秀介
	(食品プラント)	森 裕芳

委員	ほてい運輸	近藤 正樹
	気仙沼ほてい	高橋 和徳
		菊田 真子
		尾形 一子
	サイアムホテイ	保本嵩文
	プランブリーホテイ	Atchara Chunnaseaw
	(バンコク事務所)	Krip Petchprasit
		Sachat Kaewnamkang
	(プランブリー工場)	Nannaphat Mahathananobphong
		Eakkachai Chuachart
		Arunrak Thubtimdang
		Watcharee Klungnak

活動報告①

本社・工場周辺の定期的清掃活動

月1回を目標に本社・工場周辺の清掃活動を実施しています。

■2024年10月～2025年9月活動実施回数

蒲原地区（本社）	12回
蒲原地区（開発棟）	11回
富士川地区	11回
タイ地区（プランブリー工場）	3回

蒲原地区（本社）

活動日 毎月20日前後

清掃場所 本社周辺
（バイパス及び海岸堤防周辺、
本社前道路～堀川沿い）

清掃時間 10月～3月 8：30～9：00
4月～9月 16：30～17：00



蒲原地区（開発棟）

活動日 毎月20日前後

清掃場所 開発棟周辺
（開発棟～新蒲原駅前
（ほていさん通り）、旧東海道）

清掃時間 8：30～9：00



富士川地区

活動日 毎月上旬

清掃場所 富士川工場周辺
(工場前坂道、県道10号)

清掃時間 16:00～16:50 (50分間)



富士川地区 (ほてい運輸)

活動日 業務の都合に合わせて不定期

清掃場所 事務所入口横の緑地帯

清掃時間 業務の都合に合わせて
不定期 (1～2時間)



タイ地区 (プランブリー工場)

活動日 製造予定に合わせて不定期

清掃場所 工場に繋がる用水路、
工場前道路、近隣寺院

清掃時間 製造予定に合わせて
不定期 (数時間)



本社周辺の地域清掃活動への参加

地域にて清掃活動が行われていますが、当日は清掃に参加することができません。
そのため、地域活動日の前の出勤日に従業員にて清掃を行っております。

堀川の清掃

活動日 2025年5月15日

清掃場所 堀川（本社付近）



蒲原海岸の清掃

活動日 2025年10月24日

清掃場所 蒲原海岸



活動報告②

リサイクル活動

空き缶

2013年10月末、富士川工場守衛所前に空き缶回収ボックスを設置しました。静岡は缶詰メーカーが多い町ですが、月に1回しか空き缶回収日がなく、空き缶が自宅に溜まってしまいます。そこで、いつでも捨てることができるように回収ボックスを設置し、地元中野台地区へ空き缶の持ち込みについて案内しております。空き缶は業者に買い取っていただき、回収して得た利益で2024年11月28日に地元富士川地区（富士松野・中野台・八幡町）へ防災備蓄用としてやきとり缶詰を寄贈しました。

その後も富士川工場で継続して回収しており、今後まとまり次第地元へ還元予定です。

その他蒲原地区（本社、開発棟）でも社内で空き缶回収を行っております。



■2024年10月～2025年9月回収量

	アルミ缶 (kg)	スチール缶 (kg)	合計 (kg)
蒲原地区	17.73	6.82	24.55
富士川地区	781.27	1,147.68	1,928.95
合計	799.00	1,154.50	1,953.50

ペットボトルキャップ

従業員が飲んだペットボトルキャップ飲料のキャップを回収し、海外の子どもたちにワクチンを届ける活動を行っている企業に寄付しております。

また、キャップをゴミとして焼却しないことで二酸化炭素排出の削減にもなります。

■2024年10月～2025年9月回収量

	キャップ (kg)	キャップ (個)	ワクチン (人分)
蒲原地区	15.30	6,579	4.1
富士川地区	179.00	76,970	48.1
合計	194.30	83,549	52.2

ベルマーク

社員の家庭で商品を購入した際に付いているベルマーク、社内で使用しているベルマーク付きインクカートリッジを回収しています。

集めたベルマーク、インクカートリッジは蒲原学園幼稚園へ寄付しました。

■2024年10月～2025年9月回収量

	ベルマーク
点数	180.4点
インクカートリッジ	57個



活動報告③

地域保育園・幼稚園・小学校・中学校への缶詰贈呈

近年大規模な地震が発生したり、台風等自然災害により、甚大な被害が出ています。発生直後は避難場所に物資が届かないということもあり、缶詰のように長期保存でき、調理しなくてもそのまま食べることができるおかずは大変貴重だったそうです。特にホテイフーズの看板商品「やきとり缶詰」の原料である鶏肉の脂肪は牛肉や豚肉と比べて融点が低く、人の体温で溶けやすいため防災備蓄に適しています。

私たちは地域の支えがあり、企業活動が出来ております。お互い支え合える関係を築き、良い地域にしていくため、保育園・幼稚園・小学校・中学校へやきとり缶詰の寄贈を行いました。

※ホテイフーズ本社・工場のある旧庵原郡（蒲原、由比、富士川）へ寄贈

保育園・幼稚園名	寄贈日
東光幼稚園	2024年11月21日
蒲原学園幼稚園	2024年11月21日
蒲原東部こども園	2024年11月22日
蒲原西部こども園	2024年12月16日
蒲原梅花幼稚園	2024年12月16日
由比入山こども園	2024年12月16日
由比こども園	2024年12月17日
由比中央こども園	2024年12月17日
松野こども園	2025年9月17日
さくら台幼稚園	2025年9月17日
富士川こども園	2025年9月17日
蒲原聖母幼稚園	2025年9月18日



小学校・中学校名	寄贈日
静岡市立蒲原西小学校	2024年10月18日
静岡市立蒲原中学校	2025年9月11日
富士市立富士川第一小学校	2025年9月16日
静岡市立蒲原東小学校	2025年9月18日
静岡市立由比北小学校	2025年9月18日
静岡市立由比小学校	2025年9月18日
静岡市立由比中学校	2025年9月18日
富士市立富士川第二小中一貫校 松野学園 小学部	2025年9月25日
富士市立富士川第二小中一貫校 松野学園 中学部	2025年9月25日
富士市立富士川第一中学校	2025年10月1日



地域小学校への食育活動

缶詰製造メーカーとして、缶詰の正しい知識、缶詰の良さ、災害時のための備えなどについて知っていただくため、小学校の防災教室に参加しました。

説明だけでなく、当社社員が一緒について実際に児童が1人1缶ずつ開けることで、プルトップ缶の正しい開け方、開ける際に手を切らないように注意するなど、身に付けることが出来ます。

実施日	2025年1月29日
場所	静岡市立蒲原東小学校 4年生
内容	缶詰クイズ 缶詰の開け方説明 災害時の備蓄について 等



実施日	今年度はありませんでした
場所	富士市立富士川第二小学校 4年生
内容	缶詰クイズ 缶詰の開け方説明 災害時の備蓄について 等

昨年度の様子



活動報告④

工場見学者通路へ富士山写真の展示

富士川工場飲料プラントに見学者通路があり、県外や海外から見学に来場されることがあります。静岡県富士市にきて頂いているので、ぜひ本物の富士山を見て頂きたいのですが、天候により見るできない日があります。せめて気分だけでも味わっていただきたいという思いから、2025年3月に従業員が撮影した富士山の写真で、フォトコンテストを行いました。地元の人ならではの富士山の様々な表情が写真におさめられています。たくさんの写真を展示しておりますので、工場見学に来た際にはぜひご覧ください。お客様にも大変ご好評いただいております。

社長賞



副社長賞



特別賞



展示してある写真の一部です



工場見学の入

工場見学の受入は以前より実施しておりましたが、2023年10月より建屋一部改修工事の為、工場見学を中止させて頂いておりました。

2025年8月より一般のお客様向けの工場見学を再開いたしました。やきとりとペットボトル飲料の製造ラインをご見学いただけます。

工場見学のお申し込み方法等は、ホテイフーズのHPをご確認ください。

場所 (株)ホテイフーズコーポレーション 富士川工場飲料プラント、食品プラント



献血活動

当社では、従業員等を対象とした献血活動を毎年実施し、血液不足の現状を解消するため、日本赤十字血液センターに協力しています。



活動報告⑤ その他活動

本社・富士川部門

まつのdeマルシェへ出店

2025年6月8日、富士市南松野で開催された「まつのdeマルシェ」へ出店しました。松野や近隣地域の活性化を目的としたイベントです。当社からは富士川工場の従業員がお楽しみ袋ややきとり缶詰などを販売し大盛況でした。



私のSDGs宣言

持続可能なまちづくりに向けて、静岡市SDGs宣言書を提出しました。また、当社社員1人1人が取り組む目標として私のSDGs宣言も行いました。



御殿山保全活動

本社近くにある御殿山の桜の保全活動の一環として、2021年より寄贈しています。

「小車さくら守の会」協賛

富士川工場の近くにあるバイパスの桜並木の保護の一環として、「小車さくら守の会」の賛助会員となり、寄付金を協賛しました。

工場見学の受入

見学者通路がある工場について、地元の学校や市などから依頼のあった際、見学の受入を一部行っています。実際に製造している工程を見て、地元の企業がどんな製品をどのように作っているのか、理解をしていただくことができました。

場所 気仙沼ほてい（株） 本社工場

宮城県経済商工観光部産業人材対策課主催
「高校生向けものづくり企業見学会」



気仙沼市産業まつりへ出店

2024年10月27日、気仙沼ほてい㈱にて「気仙沼市産業まつり」へ出店しました。
魚市場で開催され、気仙沼の美味しいものがたくさん販売される物産展です。
気仙沼ほていからは、ふかひれスープなど試食していただきながら販売し、大盛況でした。

場所 気仙沼市魚市場
出店 ふかひれスープ 等



鹿折かもめ通り「二日市」へ出店

気仙沼ほてい（株）にて『鹿折かもめ通り「二日市」』へ出店しました。
地元商店街通りで毎月開催されており、今年は11回参加する事が出来ました。



—— タイ（プランブリーホテイ・サイアムホテイ） ——

ソンクラーンでタンブンの実施

2025年4月11日に「ソンクラーン」（タイの旧正月の祭り）でタンブン（祈願や寄付等）を行いました。



チャリティーバザーに出店

2025年9月20日に日本人会チャリティーバザーに出店しました。アロエ、ナタデココを販売し、売上金は全額寄付しました。



持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえて

●重要課題の特定

ホテイフーズは、今後のCSR活動の重点領域を検討する為に「持続可能な開発目標 SDGs」を活用し、重点課題分析を実施しました。



ホテイフーズは、全天候型食品製造業（年齢、性別、人種、障害の有無等にかかわらず、たくさんの人々に提供できる食品製造業）を目指しています。幼児期のベビーフード、成人の缶詰・レトルトパウチ食品・飲料・SD、高齢者の流動食など幅広いラインナップを製造・販売しています。また、笑顔が広がる食の世界を創造し、味の心をお届けするフードカンパニーをビジョンとしています。

上記5項目を重点領域と定め、特に3項目を最重点領域と決めました。

持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえて

●重要課題に対するホテイフーズの活動方針

最重要項目			重要項目	
住み続けられるまちづくり	つくる責任 つかう責任	すべての人に健康と福祉を	産業と技術革新の基盤をつくろう	エネルギーをみんなに そしてクリーンに
11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 	3 すべての人に健康と福祉を 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 
・地域清掃 ・工場見学 ・食育、防災教室 ・備蓄缶詰贈呈 ・地域イベント参加 ・容器リサイクル活動 ・災害物資協定書（富士市・富士宮市） ・フードバンク 缶詰寄付	・まぐろ資源保護 ・歩留向上 ・不良品の削除 ・在庫管理の徹底 ・緑茶、麦茶、コーヒー、アロエ粕の利用 ・富士川放水前の排水管理	・全天候型生産（ベビーフード～流動食まで） ・働き方改革 ・機能性表示食品 ・アロエ機能性成分の研究	・緑茶、麦茶、コーヒー、アロエ粕の利用 ・機械装置の再加工&資源の再利用（内製化）	・太陽光導入 ・LED化推進 ・貫流ボイラー導入 ・熱源保温化



住み続けられるまちづくりを

前記CSR活動（地域清掃、食育防災教室、防災備蓄缶詰贈呈、地域イベント参加、容器リサイクル活動）で掲載されている活動以外をご紹介します。

工場見学

地域の小学生の社会科見学から一般のお客様まで幅広く製造ラインを公開しています。また、高大学生のインターンシップの受け入れも行っており、地域の方に愛される開かれた工場を目指しています。



災害物資協定(富士市・富士宮市)の締結

災害時における物資供給に関する協定を平成30年に富士市と、令和4年に富士宮市と締結しました。この協定により、災害が発生した際、当社より畜肉（やきとり）、魚肉（ツナ等）、果実缶詰（みかん等）などの缶詰を富士市・富士宮市に供給します。



フードバンク缶詰寄付

「処分せざるを得ない食べ物を有効活用することにより、食料を無駄にせず、食を分かち合う」活動に賛同し、フードバンクふじのくにを通じて賞味期限の近い商品を半年に1回寄付しております。





つくる責任つかう責任

歩留向上／不良品の削減

弊社工場では、食品缶詰、レトルトパウチ、飲料PET（大型、小型）、飲料缶、流動食、スプレードライなど幅広い商品を生産しています。各工場では、それぞれに歩留、不良品率の目標を定め軽減に取り組んでおります。



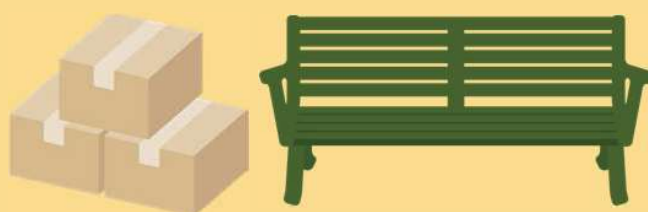
まぐろ資源保護

ISSF（インターナショナル・シーフード持続可能財団）に加盟しているタイ協力会社にはツナ缶詰商品の生産を委託しております。ISSFとは、まぐろ資源とその生態系を総合的かつ持続的に管理されるように、積極的に科学に基づいた管理を推進する団体です。



緑茶、麦茶、コーヒー、アロエ粕の利用

取引先と連携し、飲料工場が出た緑茶粕を段ボール、封筒、ノート、はがき等の紙関連商品、その他靴下、スリッパ、枕、ベンチ、肥料、マッチ等にも利用しています。また、麦茶やコーヒー、アロエ粕の利用についても研究を進めています。





すべての人に健康と福祉を

全天候型生産

年齢、性別、人種、障害の有無等に関わらず、たくさんの人々に提供できる食品製造業を目指しています。幼児期のベビーフード、成人の缶詰・レトルトパウチ食品・飲料・SD（スプレードライ粉末）、高齢期の高栄養流動食など幅広いラインナップを製造・販売しています。また、宗教上のハラールに対応した商品へのマーク表示も積極的に行っています。



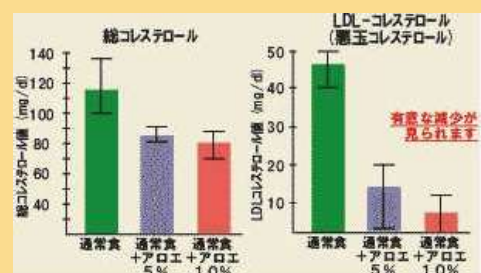
機能性表示食品

事業者の責任において科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品で、販売前に安全性及び機能性の根拠に関する情報などが消費者庁長官へ届出されたものです。2019年9月「EPA・DHAのチカラ 中性脂肪を下げる液切りいらすのしっとりツナ」レトルトパウチ商品を発売いたしました。



アロエ機能性成分の研究

缶詰加工されたアロエベラの食品機能について、東京農業大学短期大学部古庄律助教授らのグループと共同研究を行い、動物（ラット）を用いた試験において、缶詰加工されたアロエベラがコレステロール値の改善及び食後血糖値の上昇を抑制することを明らかにしました。ホームページ上で公開しております。





エネルギーをみんなに そしてクリーンに

太陽光発電

2017年12月、富士川工場に太陽光発電を設置しました。年間発電量は、200,000kwで、年間CO₂削減量は、約100tに相当します。



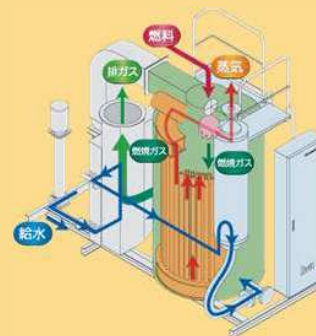
LED

2017年より順次、富士川工場のライトをLEDに変更しています。従来水銀灯が8灯設置されていたものをLED化し、節電効果6,442kwh／年、CO₂削減量は2.5t削減となりました。



貫流ボイラー

2014年より順次、富士川工場のボイラーを高効率の貫流ボイラーに変更しています。年間CO₂削減量は約2,400tになります。



省エネ取り組み

2022年5月より全社的に省エネへの取り組みを始めました。81期の本社の電気使用量は前年対比101%となりました。引き続き節電、CO₂削減に取り組んでいきます。



2025年10月以降に向けて

82期は活動開始13年目になります。12年目となる81期はコロナ禍も落ち着いてきて、少しずつですがコロナ禍前と同じような活動ができるようになってきました。82期も状況を鑑みて創意工夫し、以下を目標にして活動していきます。

清掃活動

- ・月1回を目標に本社・工場周辺の清掃
- ・地域で行われている清掃活動への参加（堀川、蒲原海岸等）
- ・気仙沼地区、タイ地区では製造状況により不定期に事務所、工場周辺の清掃

地域とのコミュニケーション

■地域保育園、幼稚園、小学校、中学校

- ・防災備蓄用缶詰寄贈
- ・防災教室の実施（小学校のみ）
- ・社内で回収したベルマーク寄付（小学校のみ）
- ・工場見学の受入 等

■地域イベント

- ・まつのdeマルシェへの出店
- ・気仙沼市産業まつり、かもめ通り商店街「二日市」への出店
- タイ：ソンクラーン（旧正月）儀式への参加
- タイ：カオパンサー（入安居）儀式への参加 等

リサイクル

- ・空き缶（アルミ・スチール）
社内で発生した空き缶回収金により、防災備蓄用缶詰の贈呈など地元への還元
- ・エコキャップ運動
社内で発生したペットボトルキャップを回収団体へ寄付し、海外の子どもたちへワクチンを届ける活動へ協力

その他

- ・富士川工場にて、見学者通路に富士山写真展示
- ・富士川工場にて、地域住民用に災害時応急救護品備蓄
- ・地域住民の方へAED講習会実施

ホームページでの公開について

ホテイフーズとしてのCSRの考え方、活動内容を社内外の方々に知っていただくため、2014年6月1日より、ホテイフーズホームページ上にCSR活動のページを公開しました。詳細の活動はほていFacebookを通して報告しております。

■ホテイフーズホームページ
<https://www.hoteifoods.co.jp>

■ホテイフーズホームページ CSR活動
<https://www.hoteifoods.co.jp/csr/>

Facebookでの活動報告について

2014年6月1日より、ホームページ上にCSR活動のページ公開を伴い、個々の活動についてFacebookを通して報告していくこととなりました。
毎月の清掃活動、各地区ごとの目標であるお祭りへの参加など、活動を都度更新しております。

■ホテイフーズ公式Facebookページ
<https://www.facebook.co./hoteifoods.yakiyaki/>

私たちは上記サイトについて以下ポリシーを順守します。

■プライバシーポリシー
<https://www.hoteifoods.co.jp/policy/>

■ソーシャルメディアポリシー
<https://www.hoteifoods.co.jp/socialmediapolicy/>

また、そのサイトを使用する方々は以下ポリシーを順守するようお願い申し上げます。

■サイトポリシー
<https://www.hoteifoods.co.jp/sitepolicy/>

発行 2025年10月

この報告書についてのお問い合わせ
(株)ホテイフーズコーポレーション CSR推進委員会
静岡県静岡市清水区蒲原4-26-6
TEL：054-385-3131（代）
FAX：054-388-2081